

## UR賃貸住宅

# 新・事業メッセージとステートメントを策定

～団地誕生 70 年を機に、未来へ向けた価値提案を発信～

独立行政法人都市再生機構（本社：神奈川県、理事長：石田 優、以下「UR都市機構」）は、前身である日本住宅公団が 1955 年に設立してから 70 年の節目を迎えるにあたり、UR賃貸住宅の新たな事業メッセージ「ゆるやかに、くらしつながる。」及びメッセージに込めた想いを言語化したステートメントをクリエイティブディレクター佐藤可士和氏のアドバイスを受けながら策定しました。

UR賃貸住宅は、これまで、公的機関としての使命のもと、時代ごとの社会課題に向き合いながら、人々が安心して暮らせる住まいのあり方を提案してきました。今回のメッセージとステートメントは、そのレガシーを継承しつつ、これからのくらしの可能性を見据えた新たな価値の提案をしていくというUR都市機構の志を、UR賃貸住宅にお住まいの方や地域、全てのステークホルダーの皆様へ向けにお伝えするものです。

### <新事業メッセージ>

# ゆるやかに、くらしつながる。

「くらしつながる。」には、お住まいの方同士、地域との「横のつながり」、ライフステージの変化に寄り添い、そして親子・孫といった世代を超えた「縦のつながり」への想いが、また「ゆるやかに、」には、「豊かな空間の中で、たとえ一人でも独りじゃない、適度な距離感で心地よく、自分のペースで自分らしく暮らせる居場所でありたい」という想いが込められています。UR賃貸住宅は、そうした“くらしのつながり”を育む住環境を提供し続けることを目指します。

## <ステートメント全文>

UR賃貸住宅は、1955年に歩みを始めてから今日まで、  
公的機関としての使命のもと、いつの時代もその時々  
の社会課題に対して、人々が安心して暮らせる住  
まいのあり方を提案してきました。

いま、時代は少子高齢化や地域社会の活性化、  
ライフスタイルの多様化への対応など、さまざま  
な課題を抱えています。これら乗り越えていくた  
めに、わたしたちは考えることをやめません。

団地にひろがる緑豊かな空間の新しい活用法  
はないだろうか。人が集まって暮らすことを、  
もっと大きなチカラに変えられないだろうか。  
多様な人々がみな笑顔になれる、くらしづ  
くりができないだろうか。地域とともに、新  
しいまちづくりができないだろうか。

ゆるやかなつながりの中で、だれもが安心  
して、自分らしく毎日を過ごせる居場所とな  
るよう。そして、そんなくらしが未来へとつ  
ながるように。わたしたちは住む人に寄り添  
いながら、常にその時代にふさわしいくらし  
を考え、提案し、実現していきます。

## <新たなUR賃貸住宅ロゴ>

—— ゆるやかに、くらしつながる。 ——



この事業メッセージとステートメントは、2025年7月1日(火)に開催される「団地誕生 70 年記念 新・事業メッ  
セージ及び新CM発表会」にて正式に発表され、新たなテレビCM等とともに公開されます。今後は、テレビ・  
Web・イベントなど多様なチャネルを通じて展開し、UR賃貸住宅の理念と取り組みを広く社会に伝えてまいりま  
す。

■ 事業メッセージ Web サイト (2025 年7月1日(火)18:00 公開)

[https://www.ur-net.go.jp/chintai/yuruyakani\\_kurashitsunagaru](https://www.ur-net.go.jp/chintai/yuruyakani_kurashitsunagaru)



<同日発表>

■ 新テレビCM

2024 年4月から 2025 年6月に放映したテレビ「歴史編」は、ステートメントの冒頭部分を表していました。7月4日から、「ゆるやかに、くらしつながる。」編として、ステートメントの後半部分を表現したテレビCMを放映します。詳しくは、別紙「新ブランドCMリリース」をご覧ください。

■ 団地の散歩道

事業メッセージを体現した、フラッグシップとも言えるUR賃貸住宅「洋光台北団地」(神奈川県横浜市)において、クリエイティブディレクター佐藤可土和さんに監修いただいた「団地の散歩道」が完成しました。詳しくは、別紙「団地の散歩道プレスリリース」をご覧ください。

<本件に関するお問い合わせ先>

UR都市機構

広報室 広報課 担当 古檜山 大久保 TEL:045-650-0887

住宅経営部 営業推進課 担当 谷 TEL:045-650-0738

UR都市機構の歩みは戦後の住宅不足解消に端を発しています。1955年から様々なステークホルダーとともに、時代時代の多様性に即し、安全・安心・快適なまちづくり・くらしづくりを通して、「人が輝く“まち”」の実現に貢献してまいりました。そしてこれからも、変化する社会課題に挑戦し続けることで皆さまにお応えし、「人が輝く“まち”」づくりに不可欠な存在でありたいと考えております。これまで培ってきた持続可能なまちづくりのノウハウをいかし、都市再生事業・賃貸住宅事業・災害復興支援・海外展開支援に全力で取り組んでまいります。

<https://www.ur-net.go.jp/>



UR都市機構は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。